

佳作

おしきなボランテア

山形県 山形市立滝山小学校五年 原田 奈央

わたしの夢は、人の役に立つ仕事につくことです。最近、ニュースなどで災害が連日放送され、戸沢村でも、水のひ害がありました。その他にも、川や海の事故で同じくらいの年の子が命を落としていて、知らない子達だけと悲しい気持ちになります。

先日、山口県で二才の男の子がおじいちゃんとは、別れてそのまま行方不明になったと、ニュースを見て知りました。わたしは、「また小さい子のニュースだ。もう人が亡くなるのはいやだな。どうか生きて見つかりますように」と、見るたびに願っていました。

数日経った朝、母がなみだを流しながら、「男の子が見つかったよ。生きてたよ。」

と、聞いて一しゅんで目が覚めました。わたしは、「よかったあ。うれしい」と思い、テレビのニュー

スにくぎづけになって見ていました。見つけたのは、ボランテアで大分県から来ていた、七十八才のおじいちゃんだと知り、とてもすてきで勇かなおじいちゃんに感動し、なみだが出ました。仕事でもなく「ボランテア」というところに心ひかれ、おじいちゃんの心の美しさにも感動しました。

インタビューを聞いて、すごいと思ったのは、子どもの心理を考えて見つけてくれたこと、そして信念をつらぬいた行動をしたことに、あこがれをもちました。

わたしは、このおじいちゃんからたくさん愛と感しゃの心、そして自分を信じる力、真心を持つという強い心を学びました。

おじいちゃんの言葉で、一番考えさせられたのが、「人の命より、重いものはない」という言葉でした。

わたしは、物心ついたころからねむりにつく時、母が読み聞かせをしてくれて、たくさん命の大切さの本を読んでくれたこともあり、一人一人の命がどれだけ、とうといものなのか、そしてどれだけ美しいものなのかと思うことがあります。

毎日の生活の中で、自分に自信がなくなったり、心のみだれが出たり、まだまだむずかしいけれど、

たくさんの方と出会い、そこから学び成長して、わたしもおじいちゃんのような強い心を育てていく努力をしています。

この夏、おじいちゃんのことをテレビの中だけで、知ることができ、お話を聞くことができ、すてきな言葉を真っすぐ伝えているところを見て、改めて人生は宝の山だと思いました。

人の命より、重いものはない。この言葉をむねに、たくさんさんの宝に感動し、感しゃし、学び成長していきたいです。

わたしの夢は、人の役に立つ学校の先生かお医者さんになることです。しっかり相手のことを考えられるように、勉強し努力していきたいと思っています。